

# 課題の解決に向けた施策の方向性について

令和5年3月24日

## 現行計画(駅東側エリア)の 施策体系・進捗等

### 【取組の進捗】

#### 1. 階層性のある公共交通ネットワークの構築

- 【事業(→進捗状況)】
- ① 駅東側LRTの整備  
→ R5.8開業予定
  - ② 駅東側地域のバスネットワークの再編  
→ R5.8実施予定
  - ③ 駅東側地域の地域内交通の導入地域の拡大  
→ 郊外部・市街地部の計3地区に導入
  - ④ 駅東側のトランジットセンターの整備  
→ R5.8供用予定

#### 2. 利便性の高い公共交通の実現

- 【事業(→進捗状況)】
- ⑤ ICカードの導入  
→ バス(R3.3)・地域内交通(R4.9)に導入  
※LRTにはR5.8導入予定  
→ 運賃負担軽減策(バスの上限運賃制度等)の導入

#### 3. 公共交通の利用促進

- 【事業(→進捗状況)】
- ⑥ モビリティマネジメントの実施  
→ 住民MM,学校MM等の実施

### 【目標指標の達成状況】

目標指標	計画策定時 (H27年度)	目標値 (R6年度)	最新数値 (R4年度)	達成率
①公共交通の利用者数	1,557万人/年	2,037万人/年	1,148万人/年	73.7%
②公共交通のカバー率	70.5%	97.4%	95.4%	97.9%
③公共交通に対する満足度	宇都宮市:	宇都宮市:	宇都宮市:	宇都宮市:
	芳賀町:	芳賀町:	芳賀町:	芳賀町:
④計画区域従業員数	10万3千人	10万3千人	10万7千人 (令和3年度実績)	103.7%

### 【現行計画の評価】

・「公共交通の利用者数」や「公共交通に対する満足度」は、公共交通サービス水準が向上する LRTの開業やバス路線再編の実施前ということもあり、目標を下回っている状況。  
⇒「利便性向上」に資する運賃負担軽減策の充実や、「利用促進」に資するモビリティマネジメントなどを充実させる必要がある。

## 芳賀町・宇都宮市全域の 公共交通の課題

- a.公共交通ネットワーク
  - ・町域北部でバス路線の空白地域の解消(芳賀)
  - ・市街地部・郊外部の一部に残る公共交通空白地域の解消(宇都宮)
- b.公共交通サービス
  - NCC形成に向けた拠点間を結ぶ幹線バス等の運行サービス水準の維持・充実
  - 駅東側LRT開業などの時機を捉えた段階的な運賃負担軽減策の拡充
- c.公共交通の利用状況等
  - 自動車への過度な依存の脱却に向けた、モビリティマネジメントなどの公共交通利用促進策の実施
  - 交通事業者や地域等と行政が一体となった公共交通の維持・充実

宇都宮市全域に  
エリアを拡大

## 新計画における課題解決に 向けた施策の方向性

### 1. 階層性のある公共交通ネットワークの構築

- ① 芳賀・宇都宮エリアを結ぶ基幹公共交通軸の形成【拡充】(対応事項:a,d,e)
- ② 計画区域全域のバスネットワークの強化【拡充】(対応事項:a,b,c,d,e)
- ③ 日常の移動手段を支える公共交通の維持・拡大【拡充】(対応事項:a,c)
- ④ 鉄道・LRT・バスの端末交通の充実【新規】(対応事項:d,e)
- ⑤ 多様な交通手段の乗り継ぎ・乗り換え環境の構築(交通結節機能の強化)【拡充】(対応事項:d,e)

### 2. スマートな公共交通の実現

- ⑥ 運賃負担軽減策の充実【拡充】(対応事項:b)
- ⑦ デジタル技術を活用した利便性の向上【新規】(対応事項:b)
- ⑧ 公共交通分野の脱炭素化【新規】(対応事項:f)

### 3. 公共交通の利用促進

- ⑨ モビリティマネジメントの実施【拡充】(対応事項:c,f)

抽出された  
課題への対応

現行計画の施策体系をベースとして  
課題等への対応を踏まえた取組方針として改定

法改正・県の動向、  
関連計画との整合

### 関連計画における 考慮すべき事項

- d.都心部まちづくりビジョン
  - ・都心部を循環するバス路線などの公共交通ネットワークの充実
  - ・公共交通を補完するシェアモビリティ等の充実
  - ・交通結節機能の強化
- e.LRTの駅西側への延伸
- f.脱炭素先行地域の選定
  - カーボンニュートラルに資する公共交通の導入
  - 自動車から公共交通への利用転換

### 計画策定にあたり考慮すべき事項

#### 地活化法 (R2改正) の対応

- ・宇都宮市全域を対象区域とした地域公共交通計画策定
- ・公的資金投入額などの定量的な目標の設定、毎年度の評価の実施
- ・乗合バス等の補助制度の強化への対応

#### 地活性化法 (R5改正) の対応

- ・関係者それぞれの連携・役割分担等の記載
- ・公共交通分野における、DX・GXの推進策の検討

#### 栃木県地域 公共交通計 画との連携

栃木県との役割分担を  
踏まえた計画内容の編成

# 1-2 課題の解決に向けた施策の方向性②

## 方針1 階層性のある公共交通ネットワークの構築

目指す都市の姿の実現に向けて、都市のコンパクト化などのまちづくりと連携しながら、鉄道やLRT、バス路線、デマンド交通、地域内交通などの多様な交通手段の維持・充実を図るとともに、多様な交通手段を円滑に乗り継ぎ・乗り換えが出来る環境を整備し、ハード面から交通手段の連携を強化させ、効率的で利便性の高い階層性のある公共交通ネットワークを構築する。

- ① 芳賀町・宇都宮エリアを結ぶ基幹公共交通軸の形成【拡充】  
JR宇都宮駅西側のLRTの早期整備を図ることにより、**芳賀町・宇都宮市エリアを結ぶ基幹公共交通軸を形成**
- ② 計画区域全域のバスネットワークの強化【拡充】  
駅西側のLRTと適切に役割分担をしながら**計画区域全域のバスネットワークの再編**を行うとともに、拠点間(都市拠点と地域拠点)を結ぶ**バス路線の運行本数などのサービス水準の向上**を図ることで、計画区域全域のバスネットワークを強化
- ③ 日常の移動手段を支える公共交通の維持・拡大【拡充】  
**芳賀町のデマンド交通の維持**や、**宇都宮市郊外部の地域内交通のサービスの拡大**を図るとともに、宇都宮市の**市街地部へ地域内交通を導入**することで、日常的な移動を支える公共交通を維持・拡大
- ④ 鉄道・LRT・バスの端末交通の充実【新規】  
公共交通の利便性の向上に向けて、新たなモビリティなどの**鉄道・LRT・バスの端末交通の充実**を図ることで都心部のウォーカブルなまちづくり等へ寄与
- ⑤ 多様な交通手段の乗り継ぎ・乗り換え環境の構築(交通結節機能の強化)【拡充】  
LRTやバス、デマンド交通、地域内交通などの交通モード間を繋ぐ拠点となる**交通結節機能の強化(トランジットセンター等の整備)**することで、多様な交通手段を円滑に乗り継ぎ・乗り換えが出来る環境を構築

## 方針2 スマートな公共交通の実現

- ・ 目指す都市の姿の実現に向けて、多様な交通手段を円滑に乗り継ぎ・乗り換えできる環境を整備するため、利用実態を捉えた運賃サービスの充実などソフト面から交通手段の連携を強化する。
- ・ デジタル技術などの科学技術の進歩を踏まえ、公共交通分野に活用することで、公共交通の利便性の向上を図る。
- ・ 運輸部門のCO<sub>2</sub>削減に向けて、電気などの環境に配慮した車両を公共交通に導入することで脱炭素化を図る。

- ⑥ 運賃負担軽減策の充実【拡充】  
駅東側LRT開業などの時機を捉えながら、**段階的に運賃負担軽減策を拡充**することで多様な交通手段を円滑に乗り継ぎ・乗り換えできる環境を整備
- ⑦ デジタル技術を活用した利便性の向上【新規】  
**ICカードの利用データ**や、**デジタルサイネージ**などのデジタル技術を活用することで公共交通の利便性を向上
- ⑧ 公共交通分野の脱炭素化【新規】  
**電気などの環境に配慮したエネルギーを活用**することで、公共交通の脱炭素化を図る

## 方針3 公共交通の利用促進

過度に自動車に依存した状態から脱却し、自動車と公共交通などを適切に使い分けできる社会への転換を図るため、市民の意識転換に向けた取組を推進する。

- ⑨ モビリティマネジメントの実施【拡充】  
駅東側LRTの導入やバス再編等の交通環境の変化の時期を捉え、**住民MM・学校MMなどの公共交通の更なる利用促進**を図り、住民や来訪者の行動変容を促す